



多摩支部会報第 68 号

MEIJI UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION

新 緑 号 2025 年 5 月 3 日

明治大学創立 150 周年記念事業「3つの夢」 ～世界をリードする大学を目指して～



2031 年 明治大学は、創立 150 周年を迎えます。
「MEIJI VISION 150～前へ～」を策定し、あるべき姿をビジョンとして位置づけるとともに、具体化に向けた方針を定め、実現に向けて「前へ」邁進しています。そして今、150 周年記念事業として、3つの「夢」が動き始めています。

3つの夢

1. 山の上ホテル継承～新たな課題に挑む明治大学の夢～



2024 年 11 月、明治大学は、山の上ホテルの歴史的建造物を継承することを発表しました。山の上ホテルの継承は、建物のみならず、文化的記憶の継承なのです。明治大学は、これを大学の使命である教育・研究・社会貢献の場として、そして明治大学の未来を創造する場として、どのように活用していくかという魅力ある課題に、一体となって取り組んでいきます。

(詳細は、多摩支部会報第 66 号〈2025 年 2 月 3 日発行〉をご覧ください。)

2.SURUGADAI 6.0 始動～未来型キャンパスが拓く明治大学の夢～



2024 年 12 月、明治大学は、駿河台キャンパス総合施設整備計画「SURUGADAI 6.0」を発表しました。駿河台キャンパス全体に及ぶ施設の建て替えと改修を 14 年の期間をかけて行います。新たな教育棟や研究棟の建設、学生課外活動の場となる学生センターの建設などが予定されています。「SURUGADAI 6.0」は、学生や教職員のみならず、世界中の人々と障壁なくつながり、知の創造が一段と広がる教育研究の場を提供することを目指しています。この計画により、明治大学は次世代の発展を見据えた未来型のキャンパスへと進化します。

(詳細は、多摩支部会報第 65 号〈2025 年 1 月 1 日発行〉をご覧ください。)

3.箱根への挑戦～紫紺の襷に込めた明治大学の夢～

2025年1月、明治大学は「紫紺の襷プロジェクト～Mの輝きを再び～」を発表しました。

明治大学は、2024年10月、第101回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会において、12位という悔しい結果となり、本大会出場を逃しました。さらに、1949年を最後に、70年以上もの間「優勝」の栄冠から遠ざかっています。この状況を打破し、さらなる高みへ導くため、明治大学創立150周年記念事業として「紫紺の襷プロジェクト～Mの輝きを再び～」を立ち上げました。本プロジェクトは、箱根駅伝本大会に振り返りだけでなく、本学創立150周年である2031年度（2032年1月）の優勝に向けた、壮大な挑戦です。道のりは長く険しく、決して平坦ではありませんが、この「夢」を現実とするべく、明治大学として、駅伝部門の支援を強化し、優勝を目指します。



紫紺の襷プロジェクト～Mの輝きを再び～

「明治大学、83年ぶりの総合優勝！！」

2032年1月3日、この実況が日本中に響き渡ることを目指します。明治大学創立150周年となるこの時こそ、全国60万人の校友、学生・教職員、父母、全ての明治大学駅伝ファンの悲願である、「箱根駅伝優勝」を手にする時です。

当プロジェクトは、その目標に向けた、「ALL明治」による壮大なプロジェクトです。

これを実現するためには、全学を挙げた支援体制構築に加え、優秀な指導者の招聘、選手たちの情熱・奮闘、そして校友をはじめとした多くの皆様からの熱い支援が不可欠です。

2032年1月3日午後1時過ぎの東京大手町。地鳴りのような大歓声、そしてその大歓声にも負けない「お～お～、明治～！」の校歌が響き渡る中、本学10区のランナーが優勝のゴールテープを切る姿を想像してみてください。

そんな歴史的な瞬間を想像で終わらせることなく、現実となるよう、紫紺の誇りを皆様と共に繋ぎ、歴史的瞬間・伝説を共有しましょう。

何卒、当プロジェクトへのご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



明治大学体育会競走部駅伝監督に大志田秀次氏が、2025年4月1日付で就任。

Profile

1962年：岩手県盛岡市生まれ 1995年～1999年中央大学陸上競技部コーチ>1996年：箱根駅伝総合優勝 2011年～2023年東京国際大学駅伝部監督>2016年：箱根駅伝初出場 2020年：箱根駅伝総合5位 2021年箱根駅伝総合10位 2021年：出雲駅伝優勝（初出場初優勝）2023年 Honda 陸上競技部エグゼクティブアドバイザー

大志田秀次氏からのメッセージ

競走部の歴史は箱根駅伝と共にあり箱根への復活は大学関係者、明治大学OB、駅伝ファンの皆様の期待であり、その期待に対する責任の重さを強く感じております。

学生スポーツで重要な事は、目標に向かい「正しいことを正しく継続していく事」を信念に、個(選手)の力の成長と、その力の集結がチーム力(駅伝力)だと考えます。

選手が、自身の進歩、進化(前に進んでいる事)を感じた時に、チームの目標に一步一步近づき達成していくものと思います。また、駅伝を通して目標に対して自ら考え行動できる人間力の育成も合わせて努めて参りたいと思います。ご声援よろしくお願い致します。

ご支援について

2025年4月1日から明治大学創立150周年記念事業募金（紫紺の襷プロジェクト）がスタートしました。いただきましたご寄付は、箱根駅伝優勝に向け、競走部の強化に活用させていただきます。ご寄付いただいた方には、競走部オリジナルグッズ等の返礼もあります。

なお、これまでの未来サポーター募金スポーツサポート資金（競走部：長距離、競歩、短距離等）へのご寄付も引き続き募集しており、こちらにご寄付をいただいた場合も、返礼の対象とさせていただきます。

詳細については、特設サイトをご確認ください。

2025年度 明治大学校友会 東京都多摩支部 第22回定時総会の開催について

—明治はひとつ、3C(Contact Communication Consensus)で繋ごう多摩支部の絆—



多摩支部 支部長 土屋栄一



このたび、多摩支部では、第22回定時総会を、次の通り開催する運びになりましたので、ご案内申し上げます。明治大学の近況についてもご来賓の方からお話を聞ける良い機会です。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

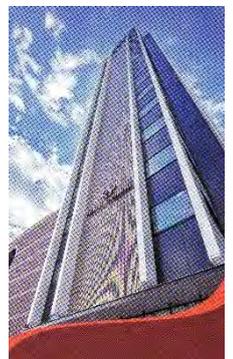
1. 日 時 2025年6月22日(日) 13時より
2. 会 場 ホテルエミシア東京立川 4階 (JR中央線立川駅北口 徒歩約3分)
東京都立川市曙町2-14-16 TEL: 042-525-1121 (代表)
3. 受 付 4階ロビー 12時15分~12時50分
4. 内 容 第1部 総 会 13時00分~14時10分
(議案: 2024年度活動報告・決算報告、2025年度活動計画・収支予算案等)

第2部 懇 親 会 14時40分~16時30分 (懇親会費9,000円)

懇親会アトラクション

明治大学津軽三味線「響(ひびき)」による演奏

津軽三味線「響」は、2013年創立の明治大学公認のサークルです。津軽三味線を専門とした和楽器団体で、学内のイベントや学外の福祉施設・イベント等で主に活動し、迫力ある演奏を各所で披露しています。津軽三味線は、その名の通り、青森県の津軽地方に伝わる津軽民謡に用いられる伝統楽器。一般の三味線よりも一回り大きく棹も太く、犬皮の張られた太鼓(本体)を叩きながら演奏する「叩き」、スピード感のある「早弾き」などの奏法が特徴的です。伝統と若々しさ、迫力と繊細さを兼ね備えた現役明大生による演奏をお楽しみください。



第22回多摩支部定時総会実行委員会

立川地域支部、小平地域支部、村山地域支部、あきる野地域支部、羽村地域支部、福生地域支部

2/ 地域支部を知ろう!

第8回「軍道紙」手すき和紙体験と 春の秋川溪谷～あきる野地域支部～

あきる野地域支部のご支援で開催され、9地域支部34名(国立3, 福生3, 日野4, 小平3, 東久米1, 青梅2, 村山3, 小金井2, あきる野13)と多くのご参加をいただき盛会となりましたことをまずご報告し、ご支援ご参加の皆様にご心から感謝申し上げます。

当日は12時45分、JR武蔵五日市駅に集合、路線バスで「あきる野ふるさと工房」に向かい、和紙の手すきを体験、ウォーキングで山寺「龍珠院」を経て「瀨音の湯」に向かいました。瀨音の湯での滞在は、短時間でしたが、当日は温泉客が少なく、入浴や足湯を楽しむことができ、秋川溪谷にかかる吊り橋「石舟橋」を渡って、十里木バス停から路線バスで武蔵五日市駅に帰着しました。

第二部の懇親会はJR五日市線の東秋留駅近くにある「和風潮」で開催し、28名が参加され、お店は貸し切り状態で、元気よく校歌を歌って解散しました。



山田地域支部長 挨拶



手すき体験



あきる野ふるさと工房前で

龍珠院付近にて



秋川 瀬音の湯



足湯



秋川溪谷
石舟橋を渡る



多摩支部長
炎のイー

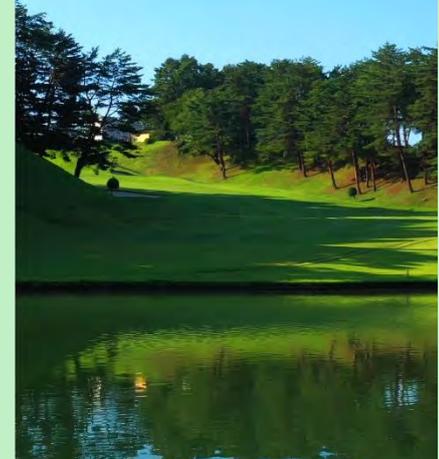
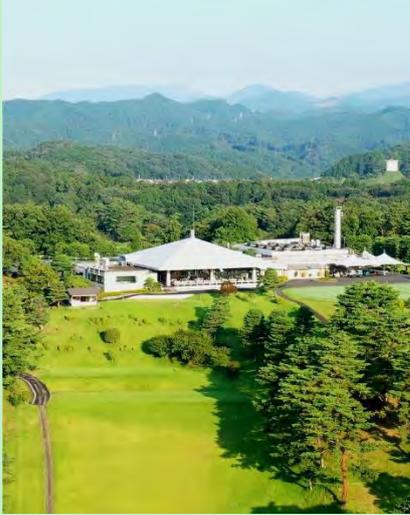
石舟橋から
十里木バス停へ



多摩支部企画活動

第8回多摩支部ゴルフ大会

多摩支部企画委員会 大河内公夫



青梅ゴルフ倶楽部 HP より

4月14日(月)、前日の雨が嘘のような春の日差しを浴びた晴天のなか、青梅市の青梅ゴルフ倶楽部にて、14地域支部から28名の幅広い年代(1963年卒~1997卒)の校友が参加し、第8回多摩支部ゴルフ大会が開催されました。

今回は7組フルメンバーの参加人数でしたが、ニアピンの対象人数が均等になるように24名の同数に分け、「中⇒東⇒中コース：4組」の計8組の編成としまして、各組の組合せは、卒部間の交流促進を念頭に緒の組にならないように同時にスタートしました。

コースに於いては、各に歓声を上げながら、楽多摩支部ゴルフ大会の最域支部間の交流・親睦はます。

ゴルフ大会の結果として健久さん(武蔵野)がグロス素晴らしいスコアに纏めロフィーを獲得しました。また、ベストグロス賞は優勝者と同ネットでしたが、ハンディ差で準優勝となった小出巧さんが87で獲得しました。(優勝者の小池さんは前回ベスグロを獲得したスコアより悪かった為、対象外となりました。) ニアピン賞は合計8本設定しましたが、難しいホールが多かったこともあって6名の方が受賞し、残りの2本は「大波賞」「水平賞」に変更し、表彰を行いました。残念ながら賞品を手にならなかった方々には、参加賞として青梅饅頭のお土産がプレゼントされました。

参加人数が多かったこともあり、入浴時間を割愛しての表彰式となりましたが、土屋支部長よりご挨拶を頂き、優勝者を始めとして各賞受賞者からの一言を頂いた後、長老の山崎善國さん(三鷹支部)の音頭で締めを行い、閉会しました。次回は、秋の開催(10月)となりますが、開催コースは幾つかの優良コースから選定して開催する予定です。大会を盛り上げるためにも、より多くの方のご参加をお願い致します。



優勝 小池建久さん(武蔵野)

コース：4組」と「西組の編成としまして年次を混在させ、支同一支部参加者が一編成し、9時03分た。

メンバーの1打1打しい時間を過ごし、大の目的である各地充分に図れたと思

は、前々回優勝の小池ス81、ネット72.6として、栄えあるクリスタルト



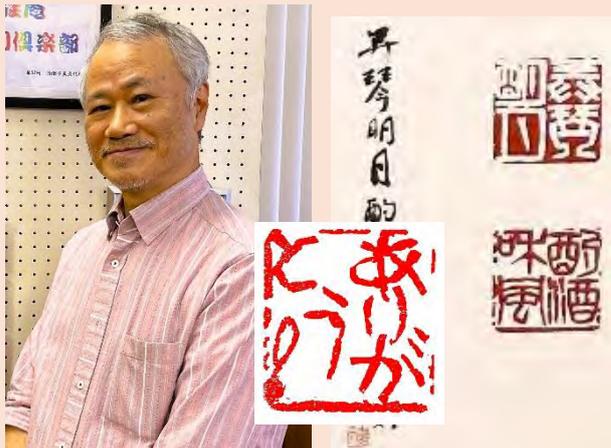
地域支部だより～清瀬地域支部

篆刻教室～方寸の芸術

身体にごはんを 心に遊びを！

梅狸庵

てん刻俱樂部



和田寿文先生・作品



篆刻教室の開講は、2022年3月、「豊島区 総合美術展」に書道作品を出品されていた校友の和田さん（S49 法）を前支部長の中村さんとお伺いしたのがきっかけでした。

書道は全く門外漢であり、まして「篆刻」は全く未知の世界でしたが、和田さんと色々お話をさせて頂き、「篆刻」の奥深さに興味を持ちました。

「篆刻教室」を開講するにあたり、打ち合わせを重ねて同年6月、校友5名と、和田さんの書道仲間の方数名でスタートしました。

以降、和田さんの懇切丁寧且つ熱意あるご指導により、道具の揃え方、「篆刻」とはとご指導いただき、月1回の教室を開講しています。

【身体にごはんを 心に遊びを！】「方寸の芸術」を楽しみましょう！と和田さんのモットーの元、和気藹々と楽しんでいます。

人生訓を「四字熟語」で表現する者、「風情」を表現する者、奥様の名前を刻んで家庭内の評価がアップした者、孫の名前を刻んでニヤニヤしている者、お得意の墨絵とのコラボで表現する者と各人の個性を生かして、篆刻にチャレンジをしています。

開講の翌年には和田さんの発案により、年1回11月に開催される「清瀬文化祭」に大胆にも出品しました。出来の良し悪しではなく、出品する事に意義ありと励まされながら、

「やるなら今でしょう！」と作品(?)を出品しました。

「篆刻」の奥深さの入り口にも至っていない我々ですが、指先の運動、文字を探す頭の体操、いつかは誰かに喜んでもらえるような作品を刻むことを目標に、今後も楽しみながら継続してゆきたいと思っております。

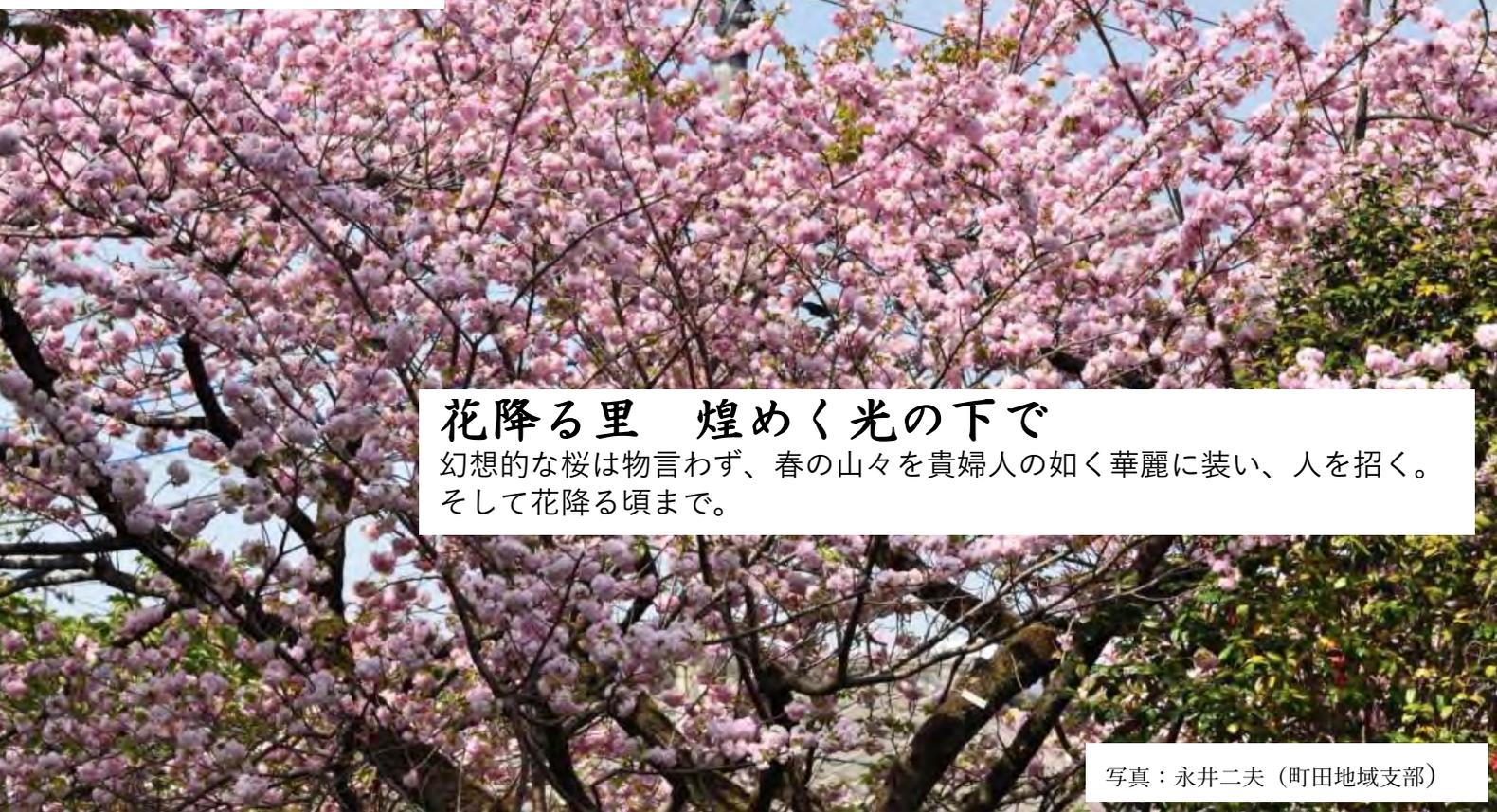
どなたでも参加自由です！一緒に楽しみませんか！

「参考」

篆刻（印章）は、漢字の誕生とともに始まった（諸説有り）と言えるほど長い歴史を持つ芸術です。

その誕生から今日まで、篆刻は常に東洋芸術の華として人々に愛されてきました。

わずか数センチ四方に集約された美の極致一とくに近年、我が国でも篆刻の魅力が再認識されるようになり、その美しさ、楽しさのとりこになった人も多いようです。



花降る里 煌めく光の下で

幻想的な桜は物言わず、春の山々を貴婦人の如く華麗に装い、人を招く。そして花降る頃まで。

写真：永井二夫（町田地域支部）

今年の「観桜会」は、あいにくの天候で、開催が中止になった地域支部が多く見受けられました。そのなかで、開催出来ました「清瀬地域支部」と「多摩支部総務委員会」が行いました「観桜会」につきましてご紹介します。



4月12日（土）多摩支部総務委員会主催の「観桜会」は、「昭和記念公園」において、総勢11名（国立3名、小平3名、日野2名、羽村2名、武蔵野1名）が参加し、開催しました。桜をはじめ、チューリップ、ムスカリ、菜の花等が溪流沿いに咲き誇り、心躍る和む雰囲気です。桜の園の下で持参のお弁当を食べながら談笑し、心の癒しとなりました。解散後は、有志5名でディスクゴルフのインコースでのプレーを楽しみました。



3月31日（月）清瀬地域支部は、清瀬の「台田運動公園」で、満開の「観桜会」を開催しました。曇り空で多少寒い一日でしたが、桜を満喫。恒例の「池添」での昼食会では、十割そばを堪能。8名参加の「観桜会」は、寒い日でしたので熱燗が五臓六腑に染み渡りました！



記・写真：粕川偉三男



写真：永井二夫（町田地域支部）

（白色の桜が「駿河台句桜」です。）

記：土井隆夫 写真：若村和之

表題は「玉岡かおる」さんの「花降る里でお客する」（日本経済新聞文化欄（2025年4月13日付））から。

素晴らしきかな人生 *It's a Wonderful Life*

～多摩支部の皆様のご寄稿から



心に響く歌声を 「ハーバーカルテット」の仲間とともに、届けたい、いつまでも

藤川 忠博 (多摩市地域支部長、昭40・商)

♪ハーバーカルテット誕生

「カルテットをやってみないか」、この私の誘いに、その場に居たコーラス大好きな三人がすぐに乗ってきて、2007年に「ハーバーカルテット」が誕生しました。その場とは、私が定年後の趣味として入会していた、その名も「帆船日本丸を愛する男性合唱団」という、恐ろしく長い名前の男声合唱団でした。

練習場所が、みなとみらいの、帆船日本丸の繋留されている所にあつたので、「ハーバーカルテット」というネーミングは、すぐ決まりました。カルテットが初めてという三人は、リードボーカルの私を中心にすぐ馴染み、60歳台半ばの若い(?)カルテットとして練習を続けることになったのです。

♪デュークとゴールドンゲート

レパートリーは、日本三大カルテットの雄デュークエイセスの曲を中心に、アメリカのゴールドンゲートカルテットの黒人霊歌、そして数々のポップスターやオールディーズなどが持ち歌でした。

♪ボランティアからコンサートへ

最初の頃は、横浜地区の音楽会や各種イベントへ参加、施設訪問など、結構楽しい時間を過ごしていました。しかし、数年を経過するにつれ、自分達の歌を大勢の人達に聴いて欲しいという欲求が強くなり、とうとう2011年に第一回のコンサートを実施しました。

会場は、山下公園のすぐ目の前にある「人形の家」、定員は150名程の小さなホールですが、我々にはちょうど良い規模でした。

入場料は無料にしました。それは、あくまで自分達の歌を聴いていただきたい、との思いからです。メンバー一人当たりの負担は、それなりものがありますが、そこは、“年寄りの道楽”として考えようということで、誰一人反対はしませんでした。

♪2025年に10回目のコンサート

途中、新型コロナの大流行などで3年間程、コンサートはできませんでしたが、今年の1月25日に、第10回目のコンサートを開催することが出来ました。メンバーは交代等がありましたが、平均年齢82.25歳。それぞれ何らかの肉体的不安をかかえてのステージでしたが、何とか一人も倒れずにコンサートを終えることが出来ました。

♪今後のハーバーカルテットは

四人で話し合った結果、体力的に自信はないけれど、皆カルテットの魅力に取りつかれており、誰かが倒れる迄は続けようということになりました。

私も息の続く限り、カルテットを楽しみたいと思っております。
素晴らしき哉カルテット。



日本丸・横浜観光協会 HP より



人形の家

「ハーバーカルテット」のコンサート

コンサートの歌声は、YouTubeでお聞きください。

第7回コンサート

写真：矢場岩男

第8回コンサート

写真：矢場岩男



読売新聞

気流

水彩画は、読売新聞の投稿欄「気流」に採用され、掲載されたものです。

年月日は、読売新聞「気流」に掲載された年月日です。

東伏見稲荷神社 2025.1.10



白川郷 2025.3.7



井の頭公園 2024.8.22



田園調布の家 (江戸東京たてもの園内) 2024.7.15

明治大学マンドリン倶楽部演奏会(立川地域支部主催)が、今年も、「たましん RISURU ホール」で開催されます。心揺さぶる名曲を生の演奏で是非、お聴きください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(立川地域支部・石津)



第53回 明治大学 *Meiji* マンドリン倶楽部 立川演奏会

第1部【古典音楽】
「ペール・ギュント」より
「新世界より」

第2部【心揺さぶる日本の名曲】
丘を越えて
時代横断歌謡曲メドレー

第3部【世界名曲見聞録】
オペラ座の怪人
情熱のラテンメドレー

※タイトル・曲目は変更する場合がございますので、
予めご了承ください。
(プログラムは、当日入場の際差し上げます。)



日時 **2025年7月5日(土)**

入場料金

PM.4:30 開演(PM.4:00開場)

2,000円(全席自由)

会場 **たましんRISURUホール**(立川市市民会館大ホール)

入場券取扱所 たましんRISURUホール(市民会館)〈プレイガイド1階事務室〉

チケットぴあ web予約

福島米室(羽衣町2-5-17)、伊藤商店(柴崎町2-10-18)、三協石油(富士見町6-13-1)、

〈Pコード 294066〉

東京ビルド(富士見町6-48-22)、大衆海鮮居酒屋 おっ魚(錦町2-1-3 ICHIGO M2ビル)、居酒屋 和海(錦町1-3-27)

問い合わせ 立川支部長 石津 090-3477-4880

主催 明治大学校友会立川地域支部